

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	おみ光のページェント
事業主体 (連絡先)	麻績村観光協会 麻績村 観光課 0263-67-2133 (聖高原観光案内センター)
事業区分	(6) オ その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ハード・ソフト
総事業費	1,671,820 円

### 事業内容

ドイツのブッチャードガーデンをモチーフにした庭園が自慢のシェーンガルテンおみ。季節ごとにさまざまな花が咲き訪れる方を魅了するが、冬季の誘客が課題だった。

5年前から行われる「おみの星空キャンドルまつり」により、観光客の入り込みに変化が見られ始め、さらに誘客につなげるべく、庭園内にイルミネーションを装飾した。

園児と児童による作品制作の他、イルミネーションの装飾には一般ランティアを募り、庭園に飾り付けした。また、観光コンテンツの発信を狙ったフォトコンテストの他、「星空」といった地域の貴重な資源を活用したイベントを実施し、交流人口の増加を狙った。



【好評だったキャンドルまつりとイルミネーションのコラボ】

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

今年度のイルミネーションは、松本大学学生と協力を図りながら、小学校と連携を取り、PTA などから企画・デザインなどの意見を聞くことで、みんなで作り上げていくといった空気感、されには連帯感を作ることができたと感じる。

「フォトコンテスト」については、SNS や Web を用いた発信により、昨年度より多くの応募をいただいた結果となった。(17名の応募者。47点の作品) フォトコンテストの開催とインスタグラムを活用してのフォトコンテストも実施。インターネットを活用した事業の発信に加え、村を誘客にも大きな効果があったと感じている。

昨年度に引き続き実施したイベント「星空観賞会」については、金曜日の夜の開催を土曜日に変更。親子連れ、特に男性に好感触だった。

参加された地元住民の「星空」に対する感覚が“当たり前”から“貴重”に変わったのではないかと手応えを感じたイベントになった。

この「おみ光のページェント」の開催により、テレビで取り上げていただけたことで、地元住民には地域資源の再認識、また郷土への誇りを、他市町村の皆様には、「麻績村」を観光地として認識いただけたものと考えている。

### 【目標・ねらい】

郷土愛の醸成と世代間交流

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

イルミネーションの装飾・星空観賞会・フォトコンテストのいずれも予定通り実施できた。

欲を言えば、来場者数をさらに伸ばしたい。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

冬期間の観光コンテンツとしての定着はもとより、さらに多くの方々に訪れていただける場所となるよう装飾に磨きをかけると同時に、指定管理先にアプローチし、ホットドリンクの提供など、点灯期間中のサービスを向上させ、さらなる誘客を図りたい。また、フェイスブック、インスタグラムなどインターネットを活用した事業を展開し、村外・県外からの誘客を図りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある